



2018年10月 4日 (木) 第12回 (通算2094号)

例会プログラム

本年度第12回〔10月 4日(木)〕
プログラム
「私の故郷—インドネシア—」
米山奨学生
ラファエル・ヨギアさん
於:大歳の間

シンギング
「君が代」

次回例会プログラム

本年度第13回〔10月11日(木)〕
プログラム
「米山奨学会について」
米山記念奨学会委員会 中塚 修委員長
地区米山記念奨学会委員会 永田哲也委員
於:大歳の間

シンギング
「R-O-T-A-R-Y」

例会欠席される会員は、水曜日までに事務局にご連絡下さい

本日の MENU 蝶の唐揚げ・トロ時雨煮・ごはん・香の物・赤出汁
本日の BGM 「ムーンリバー」「花になれ」 他

10月誕生祝 河合君 23日

10月結婚祝 乾君 19日 増田君 26日

会合予告

定例理事会④	10月11日(木)	例会終了後	例会場
--------	-----------	-------	-----

幹事報告

配付物 「ガバナー月信10月号」
回覧物 「2017-2018年度 地区会計決算報告書」「ハンブルグ国際大会地区旅行ご案内」

① ガバナーエレクト事務所開設のご案内を頂きました。

開設日 2018年10月1日(月)
所在地 〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-10-1
神戸ポートピアホテル722号室
TEL 078-304-2680 FAX 078-304-2681

E-mail rid2680@abelia.ocn.ne.jp

執務時間 月～金曜日 10:00～17:00(土・日・祝日は休み)

※お車でお越しの際は神戸ポートピアホテル駐車場をご利用ください

② 兵庫盲導犬協会より、「ワンダフル通信No.87」を頂きました。各テーブルに置いておりますのでご入用の方はお持ち帰り下さい。

- ③ 原田会員より、事業所移転のお知らせを頂きました。
新住所 〒651-2233 兵庫県神戸市西区櫛谷町福谷 684
(電話番号と FAX 番号は以前と同じ)

先週の幹事報告追加分

- ① 「ロータリーの友 10 月号」を配付しています。
② 先日の合同例会の際、神戸西神 R.C. の会長より「神戸西神 R.C. 社会奉仕プロジェクト あなたの街の保護司さん」のチラシをお預かりしましたので配付しております。お時間のあ
る方はぜひご参加下さい。

9月27日(木) 例会報告

- ◆ゲスト R. I. 2680 地区 ガバナー 矢野宗司氏・代表幹事 多木有一氏・総務幹事 前川忠範氏
◆欠席者 増田君・森田君・田中君
◆メイクアップ 永田君(クラブ管理・運営サポート小委員会)9/22・(RYLA 学友のつどい)9/23、
山中君(神戸中 R.C.)9/25、永田君(徳島中央 R.C.)9/26、小坂君(明石西 R.C.)9/27
◆出席率 会員数 27 (20) 名 出席者 24 / 25 名 出席率 96.00%
出席率(メイクアップ含まず)88.00% 9/13 補正 100%

会長報告

- ① 本日は矢野ガバナーをお迎えして、例会前に会長・幹事懇談会を行う事ができました。色々なアドバイスやお話を頂き、大変勉強になりました。ありがとうございます。先ほどの懇談会の中で、当クラブで例年行っております垂水区内中学校の吹奏楽部コンサートの話になり、私の考えとしては続けていければと思っておりますとお話しましたところ、矢野ガバナーより「各クラブの特色が大事であり、なんでもかんでもやるのではなく特化してひとつふたつやるというのが重要ではないか」というお言葉を頂き、私も本当にそうだなと思いました。今年度もコンサートを頑張ってやっていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い致します。
② 大変申し訳ないのですが、個人的な理由で次週の例会を休ませて頂きますので、理事会はその次の週に順延させて頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。

会長エレクト 星島会員

45 周年実行委員会の議事録とアンケートを配付しています。実行委員長の木下会員に代わりましてお願いさせて頂きます。委員会をもちまして、2020 年 4 月の 45 周年にむけて計画をしておりますが、どういう事業をしたらいいのかわかり、会員皆様の意見をお聞きしなければならないだろうという意見が出ましたので、急遽アンケートを取らせて頂く事になりました。3 枚つづりの 3 ページ目がアンケートのお願いになっております。記念事業、記念講演について、こういう事をしたらどうか、こういう方に話をしてもらったらどうか、基隆東 R.C. との合同事業に関してこういうアイデアはどうか等、実行可能かどうかに関わらず、単なる思い付きでも結構ですので何でも言って頂いて、委員会ですぐ実行できるか、地区補助金の対象事業として申請できるかどうか等も含めて検討したいと思います。どういうご意見でも結構ですのでお寄せ下さい。申し訳ありませんが、10 月 4 日(木)の例会までに検討頂いて、例会時にお持ち頂くか、事務局へ FAX 頂くか、私か木下実行委員長まで直接ご提出頂いても結構です。ご忌憚のない意見をお聞かせ下さい。恐らく今回採用したもの、採用されなかったものも次の 50 周年の時にも役立つデータになるのではと思いますので、そういうことも含めましてご検討頂ければと思います。よろしくお願い致します。

ニコニコ箱 (本日合計 30,000 円 / 累計 404,000 円)

R. I. 2680 地区 ガバナー 矢野宗司氏(ご挨拶)、神戸第 2 グループ ガバナー補佐 澤村正夫氏、藤本君(少し慣れて参りました。ありがとうございます。しかしながらこんな夕方の時間から家を出ることにあまり慣れておりませんので、着替えに時間がかかりまして今日はすべり込みセーフでした)、藤田君(矢野ガバナー、多木様、前川様ようこそ)、原田君(矢野ガバナー、本日はよ

ろしくお願い致します)、磯田君・渡邊君(矢野ガバナー、随員員の皆様、本日はありがとうございます)
 います)、八代君(矢野ガバナー、ようこそお越し下さいました。本日の卓話よろしくお願ひ致し
 ます) 9月ニコニコ箱合計118,000円

☆他クラブよりのお知らせ

例会変更

明石 R.C. 10月24日(水)18:00~に変更 創立記念例会・新会員歓迎会の為

近隣クラブ例会プログラム (欠席会員はメイクアップをして下さい)

※10月8日(月)は祝日の為、各クラブ休会です。

月日	時間	クラブ名/会場	プログラム
10月5日 (金)	12:30	神戸西 *1	米山月間に因んで 植田晃行会員・米山奨学生 ゲン・ティクイン・ゴックさん
	18:00	明石南 *3	フリートーク 日置会長・中山幹事
10月9日 (火)	12:30	神戸東 *1	休 会
	12:30	神戸ベイ *4	米山奨学生卓話 ヌルリナビンティアズミさん
	18:30	神戸六甲 *2	休 会
	18:30	神戸中 *1	休 会
	12:30	明石北 *6	両罰規定のはなし 佐藤雅美会員
10月10日 (水)	12:30	神戸須磨 *7	クラブの戦略計画について 滝澤功治会員
	12:30	明石 *6	健康診断解説 ふくやま病院 理事長 譜久山 剛氏
10月11日 (木)	7:00	神戸モーニング *9	クラブフォーラム みんなで語ろう
	12:30	神戸 *5	考えるあなたが未来だーメディアの進む道 浅見昭彦会員
	12:30	神戸西神 *8	未 定 クラブ研修リーダー 今田学志会員
	17:30	明石西 *	米山奨学生卓話 米山奨学生 張聞さん
例会場： *舞子ビラ *1 ホテルオークラ神戸 *2 クラウンプラザ神戸 *3 明康殿 *4 神戸ベイ・シェラトン *5 神戸ポートピアホテル *6 グリーンヒルホテル明石 *7 須磨観光ハウス *8 西神オリエンタルホテル *9 香港茶楼			

<地区よりのお知らせ>

・ロータリーデー ひょうご五国+ワールドフェスタ

日 時：2018年11月3日(土)・4日(日) 10:00~17:00

<11/3>プラスバンド Day <11/4>ダンス&パフォーマンス Day <両日>P.R. 物販ブース

場 所：神戸メリケンパーク

先ほど会長が叩かれました点鐘ですが、ちょっといつもと違っていたと思います。今年は公式訪問の際、必ずこの鐘を持って行って会長に鳴らして頂く、そういう取り決めになっております。2020年、日本のロータリーが100周年を迎えます。その100周年を記念して100周年実行委員会と東京 R.C. が出資をされて全国34地区に100周年の鐘を寄贈という形でされております。下に台座がありまして、台座にはこの地区の73クラブが創立年度順に刻まれておりますので、ぜひご覧頂ければと思います。今年と来年の2年間、会長はこれを叩くチャンスがあります。

今日私はガバナーとして、R.I. 会長について、あるいはテーマ、そして地区の方針についてお話をする立場にあります。今年は公式訪問を非常に早めております。もともと神戸垂水 R.C. は23番目の訪問という事で8月23日を予定しておりましたが、残念ながら台風で流れました。その間に30クラブ回っています。今日は53番目というかたちです。例年ですと11月、12月ぐらいまで公式訪問はかかるのですが、今年は10月中に全て終わらせるという形にして、例年よりもかなりハイペースでやっております。週によっては8か所回る時もあります。ただ、これはひとつ考案がありまして、せっかくの R.I. のテーマ等の情報はできるだけ新鮮なうちに伝えたい、そういう気持ちがあります。11月、12月になってしまうと、もうそろそろ来年の事を考える方が多くなってきます。そういうときにテーマの話をして少し色あせてしまいます。地区によっては1番長く公式訪問のかかるところが4月までというのがありました。北海道は冬の間なかなか他へ行けないので、4月に R.I. のテーマを言っても何しに来たんだと言われる、そんな感じでありまして、今年ではできるだけ早く皆さんにお伝えしよう、そういう形でできております。

今年のバリー・ラシン会長は、カリブの海賊で有名なカリブ海のバハマの出身の方であります。もともとこの方は R.I. の会長というのに最初から決まっていた方ではありません。もともとはアフリカのウガンダからサム・オーリという方がアフリカから二人目の R.I. 会長として決まっておりました。この方は非常に熱心な方で、特に会員増強に対しては、ガバナーの時にウガンダで8つのクラブを89まで増やしたという伝説の人と言われておりました。ところがこの方がエレクトになってわずか2週間、7月13日に手術後の合併症で亡くなられました。国際ロータリーはリーダーになるべき人を一気に失うという悲劇にみまわれました。8月になって、今度は R.I. 会長の指名委員会が再度開かれて、そこで色んな候補者の中から選ばれたのがバリー・ラシン会長であります。ただし、候補者の中でもトップと言う形ではありませんでした。どちらかというと、R.I. に対して批判的な事を堂々と言う方でしたから、あまり下馬評は高くなかったのですが、バハマのカリブ海の方では今まで R.I. の会長を一人も出していないので、なんとかということでみんなの後押しの中で決まりました。正式に決まるのは10月1日であります。そうするとこの方は、まず会長ノミネーという経験がありません。エレクトとしてもすでに7月から9月までの経験がありませんので、非常にハンディを背負っています。私自身も経験しましたが、ガバナーとしてノミネーの頃から本当に1年間が大事な時期であります。その間、地区の色々な事業に出て、そしてガバナーともいろんな話をして、どういった運営をすべきなのか、地区にどういう問題があるのか、それをしっかりと自分なりに掌握し、また、委員会等に出て、いずれ自分が組織を作るときにどういう人に一緒にやって頂くのか、そういうことを1年間じっくり検討する、そういうのがノミネーの時期であります。この方はいきなりエレクト、しかも10月1日からです。R.I. の会長エレクトにとって一番大きな難関というのが1月のサンディエゴでの国際協議会です。その時には R.I. のテーマを発表し、そして1年間の方針、色々なことをやっていかなければならないのですが、それまでには2ヶ月ぐらいしかありません。しかし、本当に超人的な動きをこの方はされています。実際、サンディエゴでの国際協議会では、開会式の後でバリー・ラシン氏の講演が始まると、その内容の素晴らしさ、自信に満ち溢れた内容について、我々は何度も立ち上がって拍手を送りました。そこで R.I. の会長が言われたテーマが、今年度の「Be the Inspiration」というテーマであります。壇上では字幕で「インスピレーションになろう」という日本語訳が出ましたが、実は我々当時のエレクトは誰も合点がいきませんでした。通常、インスピレーションというのは日本人が使う場合はひらめきとか靈感とかそういう意味でだいたい使われます。それにあてはめるとどうもじっくりこない。実際、後で確認しますとその通訳で日本語訳を担当した方も本当に困ったそうです。その結果、インスピレーションのままにしようということで「インスピレーションになろう」という形になりました。これを知るヒントとして我々がよく言うのが、アトランタの国際大会でさかんにこれからのロータリーのあるべき姿、あるべき方向性として言われた4つの言葉です。「Connect(つながる)」「End Polio(ポリオ撲滅)」「Transform(変革する)」、そして4番目が「Inspire」、刺激する、人々を鼓舞するという言葉であります。この Inspire の名詞形が Inspiration、結局この Inspire という言葉をもとにして Be the Inspiration というテーマが生まれてきました。我々は

このテーマを意味としてはロータリアンが、そしてロータリークラブが地域社会、国際社会をどんどん前へ引っ張っていく、そのための推進力になる、そういった活力を持った存在になろうという考え方をしています。

この4つの言葉、もう少し補足をしていきますと、まず「Connect(つながる)」ですが、バリー・ラシン会長は、R.I.に対してズバズバものを言います。国際ロータリーはその顧客であるロータリークラブ、ロータリアンの事を本当に考えているのだろうか。しっかりとつながっているのか。各クラブの実態を掌握しているのか。そういったかたちで問題提起をされ、一方、クラブはクラブで国際ロータリーが今どういった方向に向かっているのか、あるいはロータリーが世界でどれだけ素晴らしい事をしているのか、そういうことにあまりに関心ではないのか。もっと120万人が繋がれば、その潜在力を発揮すればロータリーはさらに飛躍できるであろう。そのように言われています。この「つながる」という中で、本年度の地区の4つの方針のうち、2つはこの「connect」をしっかりとしていこうという形でとらえています。

「connect」の1つ目はMy Rotaryの登録率を上げていこうという事であり、本年度は、まず50%にしようという目標を掲げています。3月、4月、これを言った頃は地区の平均がわずか25%でありました。今、43%を越すまでになっています。73クラブのうち32クラブが50%を超え、先週合同例会をされた神戸西神R.C.は100%を達成しています。まだ残念ながら神戸垂水R.C.は37.02%という数字であります。毎朝、訪問に行くクラブの登録率をチェックしています。もうあと一歩です。問題は登録が全てではありません。登録をした後が大事です。そしてパソコンをどんどんクリックすることによって、ロータリーが今世界でどうしているのか、それがどんどんわかってきます。そのロータリーへの関心を示すというのがまず第一歩だと思います。

「connect(つながる)」の2つ目は、青少年、地域社会、国際社会と繋がっていこうという事です。青少年を中心としたインターアクト・ローターアクト・RYLA・青少年交換の4つを積極的に支援しようという形でいっています。

インターアクトについては、本年度は第2回目のタイのスタディーツアーということで、8月1日から6日まで、参加された原田会員もいい刺激を受けられたということですが、19名のインターアクトをタイのチェンライにつれていきました。特に今年はアカ族の水支援をしようということでそういったプログラムもその中でやってきました。3年前の丸尾ガバナー時代、第1回目のタイ・スタディーツアーがあり、私もそこに参加をしました。子供たちがわずか1週間足らずのうちにどんどん変わっていく、そういう姿を見てきました。今年は地区のスローガンとして「Chance」「Challenge」「Change」というのをあげています。変化を恐れず、変化をリードし、新しい機会をとらえ、それに挑戦していく、そういうスローガンをあげています。青少年にロータリーはまずチャンスを与えます。そのチャンスに対して彼らがチャレンジをし、その結果彼らにチェンジが生まれてきます。スタディーツアーに参加したインターアクトのメンバーは本当に変わります。3年前のメンバーもそのうちの多くが18歳を過ぎ、今度はローターアクトクラブに入会しています。そしてこの地区のローターアクトクラブをしっかりと支えるリーダーに今なっています。彼らは「僕はロータリアンになりたい。いずれロータリアンになるのが夢なんです」とよく言います。自分たちにチャンスくれた。そのチャンスで自分たちは本当に前向きに変わった。ぜひ、将来自分たちもロータリアンになってそのチャンスを新しい青少年に与えたい。そういうようなことを言われています。これがロータリーファミリーとしてどんどん広がる一つの形になると思います。

先ほど、会長とお話の中で少し触れたことですが、ロータリーの魅力は何かと言うことで、色々なロータリークラブが会員増強やそういったことで悩んでいます。しかし、それぞれのロータリークラブには個性があります。日本人の悪い癖と言いますか、R.I.が言う、地区が言う、そうすれば何かそれら全てをしないといけない、そういう強迫観念にかられるケースがありますが、全くその必要はないのです。どれか1つに特化しよう。例えばこのクラブは青少年についてはこのクラブが1番だ、もしロータリーに入って青少年の事がやりたければ、このクラブに入りなさい。そういうような形でそれぞれが個性ある魅力を発揮する。それが1番だと思います。

ローターアクトについてですが、今年は公式訪問の時期を早めるということを行いました。11月からはローターアクトクラブを訪問します。今までそういう形はないのですが、ロータリーファミリーに対してしっかりとロータリーを理解して頂き、いずれ彼らの多くにロータリアンになって頂く。そのためにローターアクトクラブを今年は訪問してロータリーのことをしっかりと理解してもらおうと考えています。

青少年交換については、本年度この地区は8名と言う今までにない人数で交換しています。地区の今までをみてきますと、一貫性がどうしてもないのです。ある年は4名派遣した、次の年は0、また4名、0などと年によって違ってきます。こうすることによってどういう弊害があるのかといいますが、青少年交換の

OB、いわゆる ROTEX がこの地区はなかなか育っていないのです。そのため、今年も 8 名の青少年交換をするという点で一番困ったのは、ロータリアンのホームステイ先です。なかなか見つからない。正直かなり苦労しました。例えば埼玉の南東地区、ここは毎年 20 名、青少年交換をしています。毎年 20 名するという事は、20 名の OB、ROTEX が生まれます。10 年経つと 200 名、その全員が ROTEX にならないとしても、仮に半分がなれば 100 名が育ちます。今、その地区では、青少年交換はほとんど ROTEX が担当しています。自分たちが 1 年間海外へ行った。その経験がある。そしてその時には来日生は自分たちの家族が面倒を見る。そういう下地がありますから、ぜひ青少年交換については自分たちが積極的にやりますということで、ホームステイを引き受けたり、プログラムそのものを引き受けたりします。そうすることによって、この事業がますますいい方向に向かっていきます。ぜひこの地区でも ROTEX を育て、やがて ROTEX が中心になって活動するという事を考えています。来年度の浅木年度は先日の面接で 6 名の青少年交換が決まりました。ぜひそのような流れでもっていききたいと考えています。

また、プログラムではないのですが、日本独特のプログラムとしては、米山奨学生のプログラムがあります。永田さんとは、ずっと当時の社会奉仕委員長からの古いお付き合いですが、今、米山の方で本当に協力して頂いております。2 週間ほど前、米山カウンセラーミーティングで、本当に感動的な言葉を頂きました。「米山は 1 年か 2 年で卒業するかもしれませんが、でも奉仕の心は一生卒業しません」と米山奨学生が言ってくれています。今年の米山奨学生は特に国が非常にバラエティーに富んでいます。11 か国 26 名、11 の国というのは今までで一番多いのですが、これは 2 年前に、どうしても特定の国に偏ってしまう、それを何とか打破できないかということで、大学の担当者の方に集まって頂いて、ロータリーの米山奨学生についての説明をしました。そうした中で単にお金を渡すだけではない、しっかりと精神的に支え、本当に架け橋になってもらうという事をお伝えしましたら、それを評価して頂いたのか、今年は 11 か国という、今までにない国々の方が集まることになりました。

ロータリーの友の 9 月号にミャンマーからの伝言という記事があります。これはわたくしども加古川中央 R.C. の大御所の堀先生と言う方が書かれた記事なのですが、この方はちょうど阪神淡路大震災の時に米山の奨学生を預かるカウンセラーでありました。それからずっと奨学生とつながりをもっています。以前では、米山で集まった生徒となかなかその後連絡がつかないというケースがよくありましたが、最近では LINE 等色々な形でつながることが以前に比べて非常に容易になっています。奨学期間が終わってからでもどんどんつながることが出来ます。たまたまその堀先生が先般病気をされて入院されたということでそれを心配して奨学生より連絡がありました。私どものクラブはミャンマーに 4 年前小学校を建設しました。そして毎年国際奉仕関係のメンバーがそこに行って、ある年は学用品を渡す、ある年はトイレの通路を直す等、継続した支援をしています。そのもとになったのはミャンマーから預かった米山の奨学生です。ティン・エイコと言う人で、ミャンマー語と日本語の辞書を作って、本当に架け橋で貢献されています。色々な形で米山記念奨学会に支援をよろしくお願い致します。

また、「End Polio(ポリオ撲滅)」について、これはバリー・ラシン会長が「ポリオこそがロータリーにとって最大のインスピレーションである。もうあとわずかです。ぜひ最後までやり遂げましょう」と言われています。もしここでロータリーがポリオから手をひいてしまえば、もうあと少しでその果実を皆が味わうことが出来るその時にロータリーの名前がないのです。最後までやり遂げて初めてロータリーの名前がそこに残ります。ぜひ最大のインスピレーションという事でとらえて頂ければと考えています。

そして 3 つ目の「Transform(変革する)」については、実際色んなクラブに公式訪問に行く中で、今どこのクラブも本当に悩んでいます。どうすればいいのか、変えるべきなのか、原点に回帰すべきなのか。そういうような中で、例えば今日は先ほど会長より 27 名中女性会員が 6 名おられると伺いました。約 22% であります。今世界では女性会員の比率が 20.7% であります。約 5 人に 1 人が女性会員です。日本はその点非常に遅れております。ガバナーに対しても、34 地区に女性は 1 人です。世界では女性のガバナーが 20% います。ですから、サンディエゴの国際大会は非常に華やかなムードでした。

今、全世界のロータリアンの人数は約 120 万人であります。そのうちの 20.7% という事は女性会員が約 25 万人います。女性会員がもしロータリーから姿を消せばロータリアンが 100 万人を割ってしまいます。1949 年、日本のロータリーが国際ロータリーに復帰した時に約 30 万人でありました。そしてそこから 1 都市 1 ロータリークラブ制が廃止になりました。それまでは例えば神戸では神戸 R.C. だけとかそういう形であったのが、どんどん神戸にもロータリークラブが生まれてきました。そうすることによって、着実な増強・拡大が生まれ、10 年間で 20 万人増え、それがずっと続く中で、1987 年に 100 万人を突破しました。もし女性会員がいなければ、1987 年以前に戻ってしまうこととなります。その 2 年後の 1989 年、規定審議会で女性会員の入会が認められました。残念ながら日本は今 6.6%、非常に遅れています。この地区は 4.38%、

地区全体のワースト2です。しかしここでも着実な変化があります。前年度5月の時点で、残念ながら6月には会員が少し減ってしまいましたが、この地区の会員は41名増でありました。そのうち女性会員は12名を占めています。29%が女性会員であります。日本は急激な変化と言うのは望めないかもしれませんが、着実に増えてきていると感じています。公式訪問の中でこの地区で一番女性会員の比率が高いのが上郡佐用R.C.です。23名中8名、35%が女性会員です。夏の暑い時期に訪問しましたら、3人の方が着物姿で出迎えて頂きました。5年連続だと思いますが女性会長が出ています。本当に活発な方々です。女性会員の比率が2割を超すとクラブの雰囲気が変わります。

そして4番目が「Inspire」であります。バリー・ラシン会長が強調されるのが「ぜひロータリーデーを開催して欲しい。ロータリーは世界で素晴らしい事をやっている。それにしてもあまりにも社会的な認知度が低い。もっと公共イメージをあげるための事をやって欲しい」と、ロータリーデーの開催をクラブ、グループ、あるいは地区で開催して欲しいと盛んに呼びかけておられます。私はもともと今年ロータリーデーをやりたいと考えていて、サンディエゴの国際大会でリーダーとの考えが一致して心から嬉しかったです。

11月3日・4日、神戸メリケンパークでロータリーデーとして「兵庫五国+ワールドフェスタ」を開催します。兵庫五国ですから、5つの国が集まるということで、その結果澤村ガバナー補佐にはご迷惑をおかけしているなど思っております。今年、13名のガバナー補佐の皆様には本当に真剣に動いて頂いています。中には丸投げではないかと怒られているほどですが、やはりガバナー補佐の方々に動いて頂かないとどうしようもないと考えております。今年は公式訪問の際、ガバナー補佐に必ず私と一緒に訪問して頂いています。これまではそういう形では行っていませんでした。7月になるまではガバナーとガバナー補佐は研修等があつてそれなりに繋がっているのですが、例年7月が過ぎるとそれぞれが別の役割ということで、ガバナーは公式訪問、ガバナー補佐はクラブ協議会が中心となってなかなか接点がありません。2年前、私も東播第2グループのガバナー補佐をやりましたが、その時はガバナーノミニエという立場でありましたので、ガバナーとよく会いましたが、それ以外のガバナー補佐の方々とは年間何回会ったかなという、その程度でした。まずガバナーとガバナー補佐が繋がろうという事で今年は申し訳ないですが公式訪問にずっと来て頂いています。しかし、そうすることで変わると思っています。今年は本当にいろんな形でガバナー補佐にご活躍頂いています。

今回、「兵庫五国+ワールドフェスタ」という名前をつけました。ちょうど今年は兵庫県政150年であります。丸尾実行委員長と浅木エレクトガバナーと3人で井戸知事に会いにいきました。ぜひ150年の事業として我々ロータリーの事業の後援をして頂きたい、そして助成金が上限50万円出るという情報が入りましたので、しいてはこの事業に50万円の助成金をお願いしますと言いますと、なんと知事は「50万出しましょう」と、特例中の特例、知事が特別に認める事業という事に格上げとなりました。その時の知事の言葉があります。「日頃ロータリーは本当に地域社会の為に貢献されている。素晴らしい奉仕の理念を持って活躍されている。そのロータリーがこういう事業をするのだから、県としてもしっかりとバックアップをして日頃の恩返しをしたい」実際に、助成金だけではなく、自分たちもブースを出しましょうと盛り上げて頂けることになりました。大変ありがたい事ですし、ロータリーが日頃しっかり地域でやっていることがある意味で認められた結果だと思っております。ぜひ公共イメージの向上の為にまずこれをしっかりやりたいと考えています。

私は今年3つの挑戦という事で1つは「ロータリーデー」、もう1つは「地区大会」、これは私自身のイメージとしても会場はポートピアホテルだったので、今年は加古川で開催するという事で、我々東播第2グループの5クラブのメンバーが本当に気合を入れています。インスピレーションになろう、インスピレーションをもたらす大会にしようという形で例年になく大会に恐らくなるであろうと思っております。私はよく副題で「不便さを味わおう」という言い方をしているのですが、便利なのは神戸くらいで、加古川をはじめ兵庫県のいたるところ不便なところばかりですから、ぜひそれも味わって頂けたらと思います。新快速で来るとそんなに遠くない所ですから、3月23日・24日はぜひ加古川に来て頂いてみんなでインスピレーションを味わう、そういう大会にしたいと思っております。本年度始まってまだ3ヶ月です。色んなことに挑戦していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。